

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E132K003		保健体育科授業研究(中等) (Studies in Teaching of Health and Physical Education (Junior High School))																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員												
選択	2	3	教育学部 令和2年度 以降入学生用			氏名 未定(新任教員) E-mail 内線												
授業の概要	体育授業における運動観察の方法について学び、それらの知識を用いて運動の実施及び観察を行う。これらの実技・実践を踏まえて、運動に関する実施者・観察者間のズレを共有する。また、体育理論の授業づくりの方法について学び、それらを基にして授業を立案し、発表する。																	
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
目標1 体育授業における運動観察の方法について説明できる。																		
目標2 運動の観察をしながら、実施者・観察者間のズレ等を挙げることができる。																		
目標3 体育理論授業づくりができる。																		
目標4																		
目標5																		
目標6																		
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1 本授業の学問的立場																		
2 世界と身体の関係性																		
3 身体の仕組みと体育授業																		
4 運動の学習と意識																		
5 運動観察と運動観察力の形成																		
6 運動観察に見える指導者学習者間の共有とズレ																		
7 実践																		
8 実技・実践を踏まえた他者との対話や意見交換																		
9 体育授業構想の実践のまとめ																		
10 体育理論教材研究方法 (指導内容の確認)																		
11 体育理論教材研究方法 (教材研究の方法)																		
12 体育理論の授業研究(テーマ設定)																		
13 体育理論の授業研究(文献調査)																		
14 体育理論の授業研究(指導案の構想・立案)																		
15 体育理論の授業研究(発表)																		
ラーニング	A:知識の定着・確認	運動観察に関する討議					工夫	その	他	の								
	B:意見の表現・交換	体育理論授業づくりと発表																
ニテ	C:応用志向																	
ンイ	D:知識の活用・創造																	
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	実技・実践・発表に向けた準備(1h)																
	事後学修	配布資料を用いた復習(1h)																
教科書	教科書は指定しない																	
参考書	授業中に随時知らせる																	
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10						
	小レポート	60%																
	討議	20%																
	発表	20%																
注意事項																		
備考																		
リンク																		
	URL																	